



若杉聖子 白磁蓮井文茶碗 径 12 / 高さ 7cm、小原ゆかり 南徳松鷹草彫像・銀製茶杓



若杉聖子 白磁蓮井文茶瓶 左:径 7.3 / 高さ 6.3cm / 90cc、右:径 8 / 高さ 6.9cm / 130cc



小原ゆかり 南徳平丸茶罐 径 13.5 / 高さ 11.5cm / 400cc



若杉聖子 白磁蓮井文茶碗 径 12 / 高さ 8cm

# SEIKO WAKASUGI EXHIBITION GALLERY UTSUWANOTE

COOPERATION YUKARI OHARA



若杉聖子 白磁蓮文茶杯 径 6.5 / 高さ 3cm / 35cc



小原ゆかり 南徳平丸茶罐 (400cc)、銀製茶杓、南徳尊、南徳お守り壺、銀製茶杓、銀製茶針



若杉聖子 白磁蓮井文花瓶 径 18 / 高さ 18cm



若杉聖子 白磁蓮井文茶碗 (90cc)、白磁蓮文茶杯 (35cc)  
小原ゆかり 南徳尊茶罐、銀製ポットウォーマー、銀製茶杓、銀製茶針

長年制作拠点だった兵庫県三田市を離れ、京都市山科区に移り住み、新たなスタートを切った若杉聖子さん。弊店 4 回目となる展示会です。若杉さんの作る器は麗しき白の世界。進弁をあしらった流麗なフォルムと陰影が生み出す美しさには神々しさを感じます。若杉さんの作品は石膏型に泥状の磁土を練込方法で作られます。いわゆる「型もの」ですが、大量に同一のものを生産することを目的にするのではなく、あくまで造形的な自由さと作品性を求めた結果です。若杉作品の円やかな曲線は一見すると菩薩のような慈悲深さを感じますが、一方で棘のような鋭利な造形は、まるで阿修羅

のごとく強靱な意志の表れのようなのです。この二面性が単なる可憐さだけでは図れない若杉作品を読み解く鍵になるでしょう。今展では若杉さんの花器や食器など一般的なアイテムと共に、京都暮らしで関心を寄せている白磁の煎茶器や茶道具に力を入れてくれます。それに合わせて大阪の金作家 小原ゆかりさんに南徳 (銀製) の茶道具などの出品協力をしてもらいます。静謐な白と凛とした銀のお茶道具の世界。日常の中において少し襟を正すようなびんと張った緊張感。水のごとく心静かなお茶の世界を作り出すお二人の道具合わせは、寂々たる秋の日を豊かにすることでしょう。 店主

若杉聖子展 心静如水 金工作品協力：小原ゆかり

2024年10月19日(土)～26日(土)

作家在廊日 10月19日(若杉、小原)

11:00～18:00 最終日は17時迄

\*初日は入場制限があります。詳しくはネットでご案内します。

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



地図はこちら

若杉聖子 略歴

1977年 福山南郷山生まれ  
2000年 近畿大学文学部芸術学科陶芸コース卒業  
2003年 多治市陶磁器産業研究所修了  
2015年 リモージュ(仏)にて研修  
2024年 兵庫県三田市から京都市に移住し制作  
現在 京都市立芸術大学准教授

小原ゆかり 略歴

1985年 千葉県生まれ  
2010年 東京学芸大学大学院 金属工芸修了  
2011年 東京都江戸川区に工房を設立  
2018年 大阪に工房を移転  
2024年 現在大阪市内にて制作

若杉聖子展 心静如水 金工作品協力：小原ゆかり

2024年10月19日(土)～26日(土)

作家在廊日 10月19日(若杉、小原)

\*初日は入場制限があります。詳しくはネットでご案内します。

GALLERY  
うつわノート